



## 4年産米についても、 主食用米以外の作付を増やしましょう

水田フル活用と**需要に応じた生産の徹底**をすすめてみましょう

水田

主食用米の作付け (人口減少、高齢化により需要減)

転換作物

4年産米でも一層拡大する必要

主食用米以外の  
選択肢

各産地の実態に応じて、需要を確保したうえで、

- 麦・大豆、加工業務用野菜
- 子実用とうもろこし、地力増進作物
- 非主食用米 等に作付を転換し、経営の安定を図りましょう!

具体的な転作品目は、  
お近くのJAにご相談ください!



### 各地域での取組事例

#### 宮城県

- 令和4年度に子実用とうもろこしの試験栽培開始(80ha)を予定



#### 栃木県

- 3年産米に引き続き、4年産米でも在庫量等を踏まえた大幅な深掘を早期に決定

3年産米  
50,600ha  
(2年産実績比▲7.8%)

4年産米  
44,652ha  
(3年産実績比▲11.8%)

#### 滋賀県

- 需要が見込める豆乳用大豆の契約栽培を拡大

品種名	令和3年産	令和6年産
すみさやか	110トン	500トン



#### 広島県

- ブランドを立ち上げ、耕畜連携・資源循環を推進(飼料用米、飼料用稲、米粉用米等の活用拡大)



主食用米以外への**より一層の作付転換が必要**です



地元の再生協議会は、国の考え方を参考に、  
すでに生産の目安の数字を決めています。  
それ以上に取り組む必要があるという理由は何ですか?

県や地域ごとに目安の設定の考え方や数値が異なっています。  
販売状況や在庫水準などをふまえた、自主的な取り組みが大事です!



4年産米の作付に関するご相談は、**最寄りのJAまで!**